

まちづくりに参画しよう！

- ・町内の観光地を訪ねてみる
- ・ファンクラブ会員になる
- ・町外の人に町の良さを伝える
- ・地域イベントへの参画・参加
- ・イベント企画の提案

- ・町内の商店を利用する
- ・農産品等を産直に出品する
- ・町外に住む家族に友人にふるさと納税をあっせんする
- ・SNS等で町内の観光地を紹介する

- ・住民同士のつながりをつくる
- ・公共交通を利用する
- ・さまざまな活動に参加して人との接点を増やす

- ・地域懇談会に参加し、地域課題を共有する
- ・郷土の歴史を知り、防災行動を確認する
- ・地域活動に参加し、地域内の協力体制をつくる

関係人口を増やそう

儲ける地域をつくらう

小さな“わ”をつくらう

安心・安全をまもろう



行政機関

教育機関

ICT技術の有効活用

SDGsとは国連が2015年に打ち出した2030年までに世界で達成したい「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)の略称です。国連が世界に呼びかけたことで、日本を含め、多くの国や企業、個人がこのSDGs達成に向けて動き出しています。

AKIOTA 2024 めざす姿

リーディング施策（第2期安芸太田町まち・ひと・しごと創生総合戦略）主要な成果指標				
人口の社会増減	H27～R1平均	▲34.6人	R2～R6平均	24人
町内観光消費額	H30	798百万円	R6	1,560百万円
安芸太田町に住み続けたいと思う人の割合	R1	77.2%	R6	80.0%
地域コミュニティ活動の取組に関する満足度スコア	R1	34.5%	R6	50.0%

豊かさあふれ
つながりひろがる
安芸太田

計画目標人口
令和6年 5,200人

※安芸太田町人口ビジョン【改訂版】より

安芸太田の宝物

中学校での英語の学力は県内トップクラス



3名のALT（外国語指導助手）が町内の就学前施設と小中学校で活動

タブレットを使った授業もいち早く導入



町内小中学校でICTを活用した教育が充実

加計高校で国際交流



町に居ながらにして様々な国の人と交流

自然と人が共生する西中国山地国定公園



県内初認定の森林セラピー基地、町内に5つのセラピーロードを設定

伝統文化・工芸の継承



戸河内刺物は広島県指定伝統的工芸品

美しい里山景観



日本の美しいわら景観百選にも認定（寺領地区）

豊かな水資源



三段峡の水は硬度9の超軟水

祇園坊柿



生産量日本一の町の特産品

健康のまち宣言



ウォーキングで健康増進

宝がありすぎて書ききれないよ〜。



総合計画についてもっと詳しく知りたいと思った方は

安芸太田町長期総合計画後期基本計画は本庁・各支所または町立図書館本館、筒賀分室、戸河内分室で閲覧できます。また安芸太田町のホームページにも全文掲載しています。

総合計画に関する問い合わせ

安芸太田町役場 企画課
〒731-3810 安芸太田町大字戸河内784-1
TEL：0826-28-1972 E-mail：kikaku@akiota.jp



安芸太田町長期総合計画 後期基本計画

第二次安芸太田町長期総合計画 後期基本計画（概要版）



広島県安芸太田町

第二次安芸太田町長期総合計画

後期基本計画 概要版

令和2（2020）年度 ▶ 令和6（2024）年度

安芸太田町役場では、これからの5年間のまちづくりの羅針盤となる後期基本計画を町民の皆様と一緒に作りました。この計画書は、将来の目標「豊かさあふれつながりひろがる安芸太田」を定め、その実現のための基本的な方針となるもので、安芸太田町のまちづくりについての最上位計画になります。

この計画の実現は、町民の皆様の参画があって初めて成り立ちます。計画の内容をご理解いただき、まちづくりへの関わり方について、考えるきっかけにいただければ幸いです。

長期総合計画の構成と期間

	平成27年度 (2015年度)	令和2年度 (2020年度)	令和6年度 (2024年度)
基本構想	めざす将来像、まちづくりの視点、将来像を実現するためのまちづくりの基本方向（施策の柱）などを示すものです。		
基本計画	10年間 平成27（2015）～令和6（2024）年度		
	5年間 平成27（2015）～令和元（2019）年度 前期基本計画	5年間 令和2（2020）～令和6（2024）年度 後期基本計画	

世界に誇る安芸太田の魅力

▼フランスの旅行専門誌『ブルーガイド』で最高格付けの三ツ星を獲得した「三段峡」

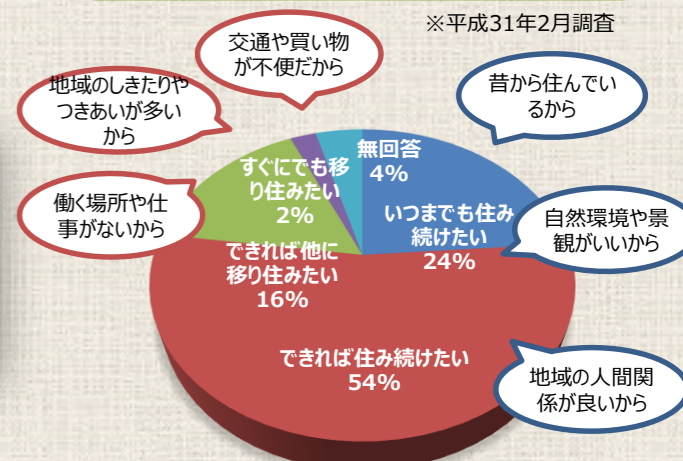


▼アメリカCNNで日本の最も美しい場所31選に選出された「井仁の棚田」

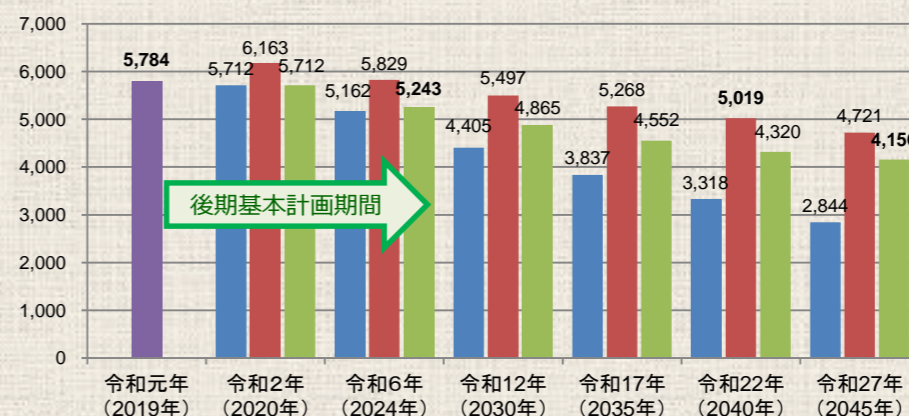


一般アンケート調査結果

※平成31年2月調査



計画目標人口



みんなが幸せに暮らしていくために何が出来るか、それぞれの立場で考えてみよう！



安芸太田町イメージキャラクター『もりみん』

- 令和元年10月1日現在の人口
- ※広島県人口移動統計調査（甲調査）より算出していますので住民基本台帳の数値とは異なります。
- 国立社会保障・人口問題研究所推計値
- 前期基本計画目標人口【H27策定】
- 後期基本計画目標人口【R2策定】

1. 人づくり・子育ての支援
地域を担う人材確保・人材育成機会の充実
2. 総合的な定住環境の整備
情報発信力の強化と定住をトータルで支援する仕組みづくり
3. 地域資源を生かした産業の振興
地域資源を生かした産業振興、雇用環境充実による人材確保と育成
4. 健康・医療・福祉の充実
住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせる環境整備
5. 自治機能の維持・活用による活性化
協働の地域づくりのため地域活動の支援体制整備

I. 定住促進と人材確保・育成によるまちづくり基盤の強化

4つのリーディング施策
重点的・分野横断的な取組み

III. 各世代にとっての暮らしやすさの向上

個人及び各種団体

- ・自治振興会
- ・社会福祉協議会
- ・NPO法人
- ・安芸太田町消防団 他

町内事業者

AKIOTAKARA
あきおおたから
ふれて、心に残るもの

(一社) 地域商社あきおおた

- ・町の魅力を発信
- ・インターネット販売
- ・地域のブランド化促進 など

- ・町内福祉関連事業者
- ・農林業事業者
- ・観光事業者 他

町の特性を活かした魅力の統合

- ・エコツーリズム推進法に基づいた推進全体構想の認定
- ・地域資源を学術的な視点で深く探求
- ・幼児期の「ふるさと教育」を充実させ豊かな感性を育む



町内産材を活用した木造校舎 大好評のコケ観察 教育旅行の人参収穫体験 心と体を癒す森林セラピー

町の魅力を内と外につなげる仕組みの構築

- ・地域の価値や魅力の分析によるブランディングの促進
- ・戦略的なタウンプロモーションを実施
- ・ふるさと納税の返礼品（モノ・サービス）の戦略的企画



ふるさと納税返礼品トップ3

「地域商社あきおおた」と道の駅来夢とごうちを中心とした地域経済循環の活性化

- ・生産者の所得向上のための仕組みづくり
- ・特産品開発の推進
- ・地域商社による町内産業間の連携促進

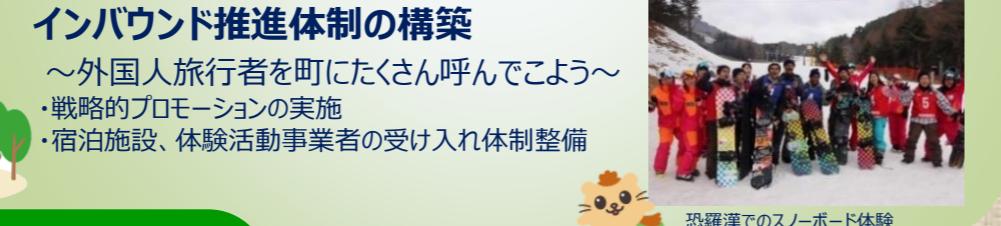


新規就農した小松菜農家 三段峡でのSUP体験 祇園坊柿を使った加工品

インバウンド推進体制の構築

～外国人旅行者を町にたくさん呼んでこよう～

- ・戦略的プロモーションの実施
- ・宿泊施設、体験活動事業者の受け入れ体制整備



恐羅漢でのスノーボード体験

「ごちゃませ」による地域共生社会の実現

- ・高齢者、障がい者、大人も子どもも居場所と役割のあるコミュニティの構築
- ・関係機関が連携した地域包括ケアシステムの構築
- ・多文化共生社会の実現に向けた取組み



絵手紙教室サロン 認定こども園交流会 各拠点施設の利用促進

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

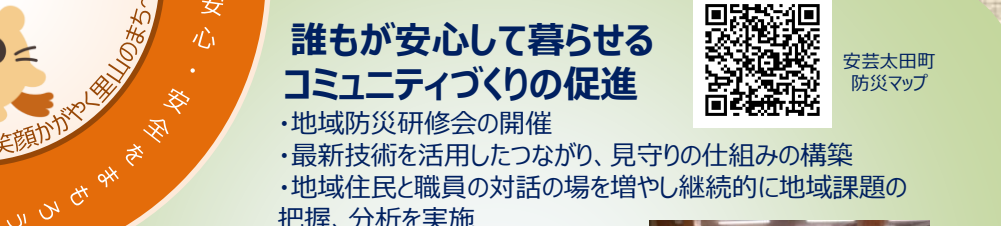
- ・婚活イベントの実施
- ・田舎暮らし体験プログラムの造成



森での婚活イベントの1コマ 角寿司づくり体験

誰もが安心して暮らせるコミュニティづくりの促進

- ・地域防災研修会の開催
- ・最新技術を活用したつながり、見守りの仕組みの構築
- ・地域住民と職員の対話の場を増やし継続的に地域課題の把握、分析を実施



安芸太田町防災マップ

安芸太田町自主防災組織設立・活動マニュアルから

自助 地域の防災力 災害時の被害を抑える

公助 国や県・市町の行政、消防機関による救助・援助

共助 地域や近隣の人が互いに協力し合う

自分の身を自分の努力によって守る

地域や近隣の人が互いに協力し合う



地域懇談会 消防ポンプ操法大会

安芸太田町 役場

- 分野別施策

 1. 定住・人口対策
 2. 子育て・教育・次世代育成
 3. 健康・医療・福祉
 4. 社会基盤・防災・防犯
 5. 生活便利・環境
 6. 産業・観光・しごと
 7. コミュニティ

安芸太田町を取り巻く環境や時代の潮流に沿った施策を展開していきます。

- 行財政運営

住民福祉の向上に向けて、職員一人ひとりの資質向上に努めるとともに、行財政改革を推進し、限られた行財政資源を有効に活用します。

ICT技術の有効活用

SDGs

この4つの施策を行政・各種団体・町内事業者が同じ目標に向かって一体で進めていくことが重要です。

II. 都市部等との“商い”の活性化と町内産業間連携の推進

IV. コミュニティの活力向上

後期計画の基本コンセプト

- まちづくりの主体を町民と捉え、NPO、企業及び行政が一体となり、目標を効率・効果的に達成できるように能力や資源を互いに補完し、相乗効果によって新しい協働のまちづくりが生み出せるように努めています。
- 計画の推進においては、リーディング施策（まちづくり戦略）を設定し、集中的にまちづくりの目標が達成できるように努めます。リーディング施策は、各分野別施策を横断的に抽出し、最大限の効果が発現するように構成します。

行政と町民・関係団体及び企業が参画する分野横断型の各種プロジェクトを発足

地域に誇りを持つ人が育つ

自立し、持続可能なまち

まち 住民満足度の向上

ひと 関係人口※の創出・拡大

しごと 地域内経済の好循環促進

※「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、この地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと